

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立大垣南高等学校学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和3年11月24日(水) 13:30~15:30
- 3 開催場所 大垣南高校会議室
- 4 参加者委員

会長	竹内 治彦	岐阜協立大学学長
委員	五十川智宣	大垣ケーブルテレビ取締役、同窓会副会長
委員	今村あおい	(株)新生メディカル取締役部長
委員	小林 月子	サンブレッジ国際医療福祉専門学校校長、元岐阜大学教育学部教授
委員	小山亜希子	(社福) 楽山・社の会理事
委員	酒井 吾郎	洲本連合自治会長
委員	竹中 拓也	太平洋工業株式会社人事開発部長
委員	藤田万喜子	岐阜聖徳学園大学教育学部教授
委員	三輪 賢司	岐阜県公民館協会会長、元岐阜県小学校校長
委員	栗田 俊彦	大垣南高等学校育友会長
オブザーバー	伊藤 秀光	岐阜県議会議員
学校側	藤吉 和彦	校長
	楠井 徳之	教頭
	北村 直也	事務長
	北原 剛	教務部長
	鈴木 元宏	生徒指導部長
	久保田信孝	進路指導部長

### 5 会議の概要

- ・学校の現状や教育活動の成果
- ・スクール・ポリシーについて第1回の意見をふまえて再検討

- 意見1：生徒自身がやりたいことを見つけることができる学校生活が大切ではないか。
- 意見2：コロナ禍であるが、苦しい中でも前向きに考える経験を積むことができている。
- 意見3：バレー部の活動が、生徒の主体性を大切に取り組んでいる。コロナ禍だが前向きにとらえて活動できていることが素晴らしい。
- 意見4：学業も大切だが、スポーツも頑張れる人がしっかりと社会人になっていけると考える。
- 意見5：確かな学力の育成も重要だが、総合的な探究の時間やインターンシップを活用して、将来を考える機会も作られている。
- 意見6：スクール・ポリシーの育てたい生徒像の中にある主体性をバレー部の活動の中から感じた。
- 意見7：先日行われた学校公開週間の際に授業を参観した。どの教室でもホワイトボードでICTを活用していた。教師間での教え合いをしていくことで、ICTの活用をさらに推進するとともに、その姿が生徒にも良い影響を与えていく。
- 意見8：西濃地区に本校より学力上位校があるため、その次の進学校という劣等感を生徒が持っていないか。成功体験を積むことで自己効力感をつくってほしい。企業の立場から、課題を発見する力、課題について考え、課題を解決する力を身につけることが社会人として大切である。これを体験するプロセスがあるとよい。制服を自由化してもよい。
- 意見9：形式的になりがちだが、学校運営協議会そのものの内容に工夫があり素晴らしい。

### 6 会議のまとめ

今回様々な視点から貴重な意見が得られたが、特にスクール・ポリシーのカリキュラム・ポリシーについては、「生徒一人ひとりの個性や長所を伸ばすカリキュラムの編成と、個に応じた自己効力感を高められる細やかな指導の実施」と修正したほうが良いという意見については、文言を修正していきたい。第3回は、総合的な学習やICTを特に利用した授業をしたうえで、本年度のまとめの意見交換を行いたい。